

# 学生相談室からのおしゃべりタイム

～恋愛のすばらしさと危険～

沖縄キリスト教学院大学

2013/11/13

沖縄キリスト教短期大学



性の問題は、身体だけではなく、心とも関連します。「心が生きる」性であってほしいと思います。自分を大切に、パートナーも大切にするためには、まず自分自身の心が安定していなければなりません。心の不安定さを身体で満たすことは出来ません。「性」とは生き方の問題でもあるのです。大学時代は、今後の生き方を考える時でもあります。



あなたはどのように性を生きていきたいですか？ (学内カウンセラー 大城りえ)



恋愛やセックスはいい関係ぬきにはうまくいきません。心が大人になっていないと恋愛関係は愛という名の支配と服従、デートDVやストーカー的な関係になってしまうことがあります。適切な距離を保って、お互いのありのままを受け入れ、育てあい、急がずに、じっくりいい関係を作りたいですね。わがママが過ぎてきたり、負担感が強くでてきたら、関係の危険信号です。

成長しあえる恋愛を! (学外カウンセラー 浅野恵美子)



中高の保健の授業である程度の性についての知識を得ていると思いますが、相変わらず10代の妊娠は多く見られます。人生経験の少ない中で親になるというのはハードルが高すぎます。「産む」「産まない」の選択も人生を左右しますのでお互いの性について理解し、思いやりの心で行動することが健康な人生を送る秘訣です。



(保健室 新垣桂子)



知ってほしい  
ここから

⑤

## 正しい性情報に触れよう

わたしたちの身の回りには、妊娠、出産、恋愛、性交など多くの性に関する情報があふれています。科学に基づいた正しい情報もあれば、臆測や興味本位のみのもので誤った情報もたくさんあります。特に、10代の皆さんがそれらを見聞きしてしまっているのが現状です。

県内の中高生へのアンケート結果を見ると、同性の友人や先輩から性情報を得るという人がほとんどで、その他には漫画や雑誌、AV(アダルトビデオ)があります。全国的に増加しているのが、インターネットを利用した動画サイトによるものです。誤った性情報の中には、男性中心的な性関係や考え方、女性を性の商品化した内容もあり、影響が心配です。映像で見ると、経験がなくても分かったような気になつてしまつてしまふことがあり、大人がつくつた偏見や間違いにのみ込まれてしまふ危険性が指摘されています。

性教育の場で「1回の性行為では妊娠しないって本当ですか」「つきあつたら必ず性行為をするもの」などの声を受け、驚きます。間違つた知識に振り回され、取り返しのつかない結果になつてしまふ状況が少なからず見られます。自分で正しい情報を選択し、知識を得ていくことを「メディアリテラシー」といい、情報があふれている現在の社会では、とても大切な力です。正しい性情報は、学校で行われる性教育や新聞などのマスメディア、地域で活動する助産師から学べます。性の健全な成長のために、正しい性情報に触れてほしいと願っています。

(笹良秀美・県「人間と性」教育研究協議会  
会員、助産師・思春期保健相談士)